

北近畿地域連携会議 設立趣意書

平成 28 年 12 月 7 日

平成 29 年 1 月 4 日改訂

1 設立趣旨

福知山公立大学は、“市民の大学、地域社会のための大学、世界と共に歩む大学”を建学の基本理念に掲げる建学の理念の下、地域協働を通じて皆様と共に持続可能で活力のある北近畿の地域社会の構築に向けて全学を挙げて取り組んでいます。

その基本理念の下、このたび北近畿地域における民間の組織・団体の皆様に、地域社会の現状と課題についての情報と認識を共有しつつ、地域や大学の持つ多様な地域社会資源を地域社会の課題解決に向けて活用することを目的に、北近畿地域連携会議の設立が呼びかけ人に提起されました。

以下にその基本構想の概要を略記し、ご賛同とご協力をお願い申し上げます。

2 北近畿地域連携会議の活動内容

京都府北部及び兵庫県北部地域を含む北近畿地域においては、福知山公立大学と京都工芸繊維大学が福知山市を拠点にして研究・人材育成・社会連携を進める新たな状況が生まれ始めています。北近畿地域における人口減少・地域経済活動の停滞・財政危機などさまざまな厳しい地域環境が現出していますが、大学が主軸となる地域社会との連携協力を構築することによって、民間主導の新たな方法論による地域再生への取り組みの可能性が芽生え始めていると考えております。

「北近畿地域連携会議」は、この動きをいっそう力強く発展させ、従来ともすれば縦割りで分断されてきた様々な民間の知恵や経験そして蓄積されてきた力の連携・協力を組織化するとともに、地域社会と大学双方の豊かな社会的資源を活用する“知恵と連帯の拠点”としての活動を想定します。

具体的には、北近畿地域における主要な課題を対象とする情報の収集と共有、専門的知験を導入した調査・分析、また地域におけるステイクホルダー間の協議を踏まえた提言やプロジェクトの企画等、これまで北近畿地域には存在してこなかったシンクタンクの機能の確立を目指します。また必要に応じて、プロジェクトを実施・推進するための行政等公的機関を含むステイクホルダー間の協調の場としてのプラットフォーム機能、を育て機能させることが想定されます。

ここにお示した北近畿地域連携会議の活動内容は、もとより皆様との意見集約を経て確定するべきものでありますが、主要な項目案は以下の通りです。

- (1) 北近畿地域の実情・課題に関する主要な情報の提供・収集・共有

- (2) 専門的知験及び地域における諸活動を踏まえた調査および分析
- (3) 課題解決に向けた提言の策定
- (4) ステイクホルダーの連携によるプロジェクトの企画及びその評価
- (5) 先進的・先端的情報の提供と共有
- (6) 若者や都市住民の定着・移住の促進
- (7) その他、本会議の目的を達成するために必要な事項

3 北近畿地域連携会議の参加の参加呼びかけ対象

- (1) 北近畿地域（主として京都府北部及び兵庫県但馬・丹波地域）における、商工農林水産業等の産業にかかわる団体・事業体
 - (2) 地域の金融機関等
 - (3) NPO・財団・社団等の社会的活動団体
 - (4) 小中高及び専門学校、専門大学校等の教育、高等教育機関（公立の学校等を含む）
- *注1 自治体等行政機関との連携方法については協議のうえ決定
- *注2 参加要件は必要に応じて協議

4 北近畿地域連携会議の組織（案）

- (1) 会員総会 年1回（必要に応じて臨時開催）
- (2) 幹事会 年3回程度（必要に応じて調整）
- (3) 研究会 （シンクタンクとしての提言をテーマごとに研究・調査する）
- (4) 事務局 福知山公立大学北近畿地域連携センター

5 呼びかけ人

- 森屋 松吉 様 （京都北都信用金庫 理事長）
- 森垣 裕孝 様 （但馬信用金庫 理事長）
- 小高 直弘 様 （WILLER TRAINS 代表取締役社長（当時））
- 前田 洋明 様 （JR西日本株式会社 福知山支社長）
- 古山 正雄 様 （京都工芸繊維大学 学長）
- 清原 正義 様 （兵庫県立大学 学長）
- 井口 和起 様 （福知山公立大学 学長）

6 事務局

福知山公立大学において担当させていただきます。